

会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

| | | |
|------------------|-----|--|
| 附属機関又は 会議体の名称 | | 平成29年度 第2回総合教育会議 |
| 事務局(担当課) | | 政策経営部企画課 |
| 開催日時 | | 平成29年9月1日(金) 10時30分～11時45分 |
| 開催場所 | | 教育委員会室(本庁舎8階) |
| 案件 | | (1) 安心して区立小中学校に入学できる施策について (2) 東京五輪音頭2020について |
| 公開の 可否 | 会議 | ■公開 □非公開 □一部非公開 |
| | | 非公開・一部非公開の場合は、その理由 |
| | 会議録 | ■公開 □非公開 □一部非公開 |
| | | 非公開・一部非公開の場合は、その理由 |
| 出席者 | 委員 | 高野区長・三田教育長・藤原教育長職務代理者・樋口委員・北川委員・白倉委員 |
| | 事務局 | 政策経営部長・教育部長・企画課長・学習スポーツ課長・庶務課長・学務課長・放課後対策課長・学校施設課長・指導課長・教育センター所長・統括指導主事・企画課企画調整グループ・庶務課庶務グループ、教育政策担当 |

○企画課長

豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。本日の傍聴者は1名でございます。本日は、議題に「東京五輪音頭2020について」がありますので、東京オリンピック・パラリンピック連携担当課長兼務、藤田 力学習・スポーツ課長に出席いただいております。

それでは、議事進行につきましては、会長であります高野区長より、お願いいたします。

○高野区長

皆様、おはようございます。第2回総合教育会議ということで、今年も早いもので9月となりました。

これまで、教育委員の皆様と活発な議論を行い、全ての学校のトイレ改修、インターナショナルセーフスクールの全校化に向けての取組など、区と教育委員会が非常に緊密に連携して、教育施策の充実に大きな成果をあげてきました。

全ての学校でトイレの改修をする取組については、この会議で教育委員の皆様からご意見をいただき、あと6校で全校の改修が完了すると聞いております。23区の中でもこのような取組は恐らく豊島区が先頭を行っていると思います。

また、インターナショナルセーフスクールの認証取得により各学校の安全・安心面で非常に成果が上がっており、全校での認証取得を目指すものであります。

つい先日には、池袋中学校の校庭が竣工しましたが、豊島区であれほど広い校庭を確保できたことは感無量であります。これは大きなスポーツ大会などでも活用いたします。そのほか校舎の改築も順次進んでまいります。このように、豊島区総合教育会議は豊島区の教育に大変重要な役割を果たしております。

さて、このたび国家プロジェクトである「東アジア文化都市」国内候補都市に豊島区が選定されました。「東アジア文化都市」は2014年に始まったばかりでまだ歴史が浅く、全国的にはまだあまり知れ渡っておりません。豊島区が第6回目の開催地であり、これまで横浜、新潟、奈良、京都などが選定されております。先日サミットが開催されて水島副区長をはじめ区職員が参加しましたが、大変な盛り上がりだったようでございます。これまでの開催地は政令指定都市で、豊島区が選ばれたということは、無謀な挑戦のようでもありますが、私は豊島区民の文化意識は非常に高く、他自治体にひけをとらないと信じております。

「東アジア文化都市」は「国際アート・カルチャー都市」を掲げる豊島区の悲願であり、2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前に控えた2019年、世界の耳目が東京に集中し、最も機運が高まっているこのタイミングに豊島区で東アジア文化都市を開催することは、豊島区のまちの魅力を世界に向けて発信する千載一遇のチャンスであります。

私は、まちづくりの基本は、教育であると思っております。教育と文化を中心としたまちづくりを進めることにより、まち全体が大きく変わり、豊島区が国際的に大きく発展するものと確信しております。今後、さらに教育委員会と連携を強固にして、「教育都市としま」、そして「国際アート・カルチャー都市」の実現に向けて、区をあげて取り組んでまいりますので、委員の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

それでは、本日の議題に入ります。近年、小学校に入学する幼児数が増加傾向にあります。

教育委員会の取組状況と対応策について、議論したいと思います。

事務局より、安心して入学できる区立小中学校の施策についてご説明願います。

○庶務課長よりパワーポイントで事業内容等説明

- ① 幼児・児童の増加
- ② 区立小中学校の入学率について
- ③ これまでの取組説明

○指導課長よりパワーポイントで事業内容等説明

- ① 速報！平成29年度全国学力・学習状況調査

○学務課長よりパワーポイントで事業内容等説明

- ① 区立小中学校入学説明会の実施方法の変更
- ② 区立中学校PRビデオの上映

○高野区長

只今、事務局より、「安心して入学できる区立小中学校の施策について」ご説明がありました。今年度初めて、教育委員会は入学説明会などで活用するPRビデオを作成しました。画期的なことかと思います。豊島ケーブルテレビでも放映されます。感想も含めて委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

○藤原教育長職務代理者

ありがとうございました。いいPRビデオができたと感じました。まず、中学生の数が増えているのはうれしいことだと思いました。消滅可能性都市と名指しされたときのショックが大きかっただけに、様々な施策が功を奏し、子育てしやすいまちづくりが進んでいるという実感が区民に広がっていると思います。

先程ビデオの中で説明がありましたが、豊島区の4つの強み、学校改築、トイレの洋式化、学力向上の取組、不登校児支援などが強調されており、その他にも保護者にとって嬉しいのは放課後のスキップ事業が充実していることだと思います。

ただ、小学校の入学率が非常に高いことに対し、中学校は60%であり、そこが課題でした。今回、作成したPRビデオは、その課題を解消すべく、余すところなく区立中学校のよいところを盛り込んでいると思います。

今までの学校説明会は隣接校選択制に対応するものであったと受け止めていますが、これからは公立学校のプライドを示し、私立学校より良い学校づくり、良い教育をしていることをアピールできるものになっていると思います。実際、学校に行くと、どの中学校も自由闊達で活気にあふれ、生徒は挨拶がしっかりしています。小学校の保護者に早い段階でこのような中学校の良さを知らせることが大切であり、ケーブルテレビによる宣伝は効果的だと思います。

ただ、小学3、4年生頃になると通塾率が高くなり、公立と私立のどちらに進むのか、進路対策をとり始める家庭が増えます。小学6年生になってからPRビデオを見せるのでは時期が遅いので、小学校中学年の段階から保護者会などでいつでも視聴できるようにしたほうがよいと思います。PRビデオに期待しております。

○高野区長

ありがとうございます。何点か補足させていただきます。消滅可能性都市については積極的に対応してまいりました。また待機児童ゼロも、非常に難しい課題でしたが、何とか達成できました。人口も着実に増加しております。次に、北川委員にお願いいたします。

○北川委員

学校への入学にあたり保護者には不安なことがたくさんありますが、教育委員会がこのように学校のPRをしてくれることは本当にありがたいと思っております。先程教育長がお持ちでした学校紹介の冊子ですが、今回新しくカラー刷りになり、保護者の疑問を分かりやすくQ&A方式で掲載してあります。カラー写真なので制服や部活動の様子なども見やすく、とても役に立つ冊子だと思います。

子供の最終学歴として大学などの高等教育機関に進学させることを希望する保護者が7割近いという報告もあります。そうした中、子供たちをどの学校に進学させるか、保護者は低学年のときから検討しておりますので、多くの区民やPTA連合会で各学校の保護者の代表となる会長にもPRビデオを見てもらうことで、豊島区の学校の良さを改めて認識してもらう機会を作れると思います。

また、子供を通わせる学校の特徴、通学にかかる費用、進路指導、受験を控えた子供への接し方など、いろいろな話を聞ける機会がもっと増えるとよいと思いました。

○高野区長

ありがとうございました。それでは白倉委員、お願いいたします。

○白倉委員

お話を伺ったプレゼンテーションでは、平成30年度中に全トイレの改修を完了させるほか、セーフコミュニティとセーフスクールの全校化を一体的に進め、がん教育、歯と口腔に関する教育、食育などを着実に遂行することを掲げております。このような健康増進や衛生に関する取組は、複雑で多様な教育ニーズに応え、保護者に安心感を与え、信頼を得るための重要なポイントだと思いますので、アピールポイントにしていくことに賛成です。

○高野区長

ありがとうございます。最後になりましたが、樋口委員、お願いいたします。

○樋口委員

非常に素晴らしいビデオをありがとうございます。こういう中学生に育てたいと保護者や地域の方も応援する気になると思います。また、高野区長はいつも「まちづくりと文化の基本は教育にある」とおっしゃっていますが、そうした視点から区長部局の方々が豊島区の学校をもっと良いものにしようとハード面を整備してくださいました。教育委員会としてはソフト面の改革を行い、充実させてきたところです。

私は昨年度から教育委員を務めておりますが、区民の皆様に豊島区の教育の良いところを広く知ってもらいたいと考えており、今日まさにその一端を見ることができたと思います。発信力と迅速性の二つが今の時代に求められていると思います。

公立学校の入学希望者について、小学校入学者の増加は子育て支援や女性にやさしいまちづくりの推進の成果であると思いますが、中学校入学者については特別区共通の課題です。今回のビデオはそうした状況に風穴を開けるものであると感じております。

私たちが信念をもって豊島区の教育を推進していることを知っていただく機会がないと、保護者の方には伝わりません。そのためのキャッチコピーは、私個人としては、「魅力ある学校づくり」「信頼できる教職員」「互いに磨きあう友達」の3つと考えております。「教育は人なり」といいますので、先生方がどれくらい尽力されているかについても着目されると思います。そこで各学校におかれましては、先生方の頑張りや受けている研修、生徒たちの感想などを学校説明会で付け加えていただければ幸いです。

○高野区長

ありがとうございます。ただいま委員の方々からPRビデオの感想をいただきましたが、大変好評のようであります。区立中学校8校に対し、私立中学校は12校もある状況です。区民が必ずしも豊島区内の私立中学に通うとは限りませんが、私立中学校の多さに改めて驚いているところです。また、このような取組はもっと周知していく必要性を感じております。学力については小中学校とも高い成果を上げていますが、区民に公表することはできませんか。

○指導課長

学区全体の成績を把握することは可能です。

○高野区長

学力テスト1位の自治体はどこですか。

○指導課長

8月29日の朝刊に出ておりましたが、1位は教育連携をしている秋田県です。

○高野区長

豊島区の小学校6年生の3位という成績は都内で3位ですか。

○指導課長

47都道府県及び20の政令指定都市の中です。

○教育長

補足させていただきますと、全国学力テストの結果は都道府県別に発表されるため、豊島区が何位という発表はありません。区の保有するデータと比較して、豊島区の順位を独自に算出したものです。

○豊島区長

全国で3位というのは大変すごいことですね。豊島区の学力レベルの高さを、何らかの形で示すことはできませんか。

○教育長

区全体の学力レベルのPRは大切だと思います。学校ごとの学力の発表については地域性等の問題もありますので是非を議論しているところですが、区全体の成績や学校ごとの進学実績等は今後PRしてまいりたいと思います。

○高野区長

明確な順位を示すことができなくても、豊島区の学力レベルが全国でトップクラスであることと、その理由はPRできると思います。また発表せずとも、質問されたときに根拠として出せるように用意しておいてもよいと思います。区民にももっと積極的に周知できないかと思いました。

○指導課長

学力テストの結果につきましては、今後ホームページや「教育だより豊島」等で報告してまいります。また、都内の教員の人事異動に関しては、公募制度がございまして、主幹教諭と主任については、自分が行きたい区に行くことが可能となっていますので、このような成績を上げたことを教員にも周知してまいります。

実際、豊島区で働きたいという教員が増えておりまして、先日開催された公募説明会では、参加した360名の教員のうち多くの教員が豊島区のブースを訪れ、様々な取組を見ました。今後さらに周知することで素晴らしい教員を採用し、授業の改善を図ってまいりたいと思います。

○高野区長

学力レベルが一番注目を集め、評価につながる部分です。先生方にも大いに自信を持ってもらえるよう、結果を公表していければいいと思います。他の方は何かご意見はございますか。

○藤原教育長職務代理者

今、学力の話がありました。とりわけ小学校は非常に素晴らしい結果でした。中学校の結果については、現状でもよいのですが、より上を目指して頑張ってもらいたいとも思いました。そのために、樋口委員のお話にもありましたが、教職員の研修等、教育委員会の施策を充実させてほしいと思いました。

○高野区長

この件でお願いがあります。現在、小中連携校の取組を実施しているところですが、このような小中学校の連携によって、池袋本町小学校の児童が区立中学校に進学するといった効果は分析できていますか。

○教育長

実は2日前に池袋本町小学校、池袋第一小学校、池袋中学校の先生と合同で全教科の模擬授業と、講師の方をお呼びした授業分析を行いました。その場に私も呼ばれ、小中一貫教育について講演しました。皆さん大変熱心でした。その後の懇談会ではセーフスクールの話もし、養護教諭の方々からは是非やりたいという声を聞きました。先生方の間でも、小中一貫教育プログラムを組んでいる学校同士で、池袋中学校に進学する児童を増やそうとする機運が高まっています。

○高野区長

小中学校の連携によって、池袋本町小学校から池袋中学校に進学する児童が増加するかを徹底的に分析し、私立中学校に進学する児童数に歯止めをかけられるようにするとともに、学校づくりに活かしてほしいです。区民に信頼される学校づくりにつながると思いますが、いかがですか。

○学務課長

進学実績をしっかりと分析し、区立中学校への進学につなげたいと考えております。

○高野区長

区立小学校から区立中学校へストレートに進学するのが当たり前になるくらいに、徹底的にやってほしいと思います。それでは次の議題に入ります。議題(2)「東京五輪音頭2020について」、事務局より説明をお願いします。

○学習・スポーツ課長よりパワーポイントで事業内容等説明

- ①東京五輪音頭2020！区内全域で盛り上げる。
- ②地域の盆踊り、運動会、各種イベントで活用する。
- ③豊島区舞踊連盟、民謡連盟との連携

○指導課長よりパワーポイントで事業内容等説明

- ①豊島ふるさと学習プログラムの一環として、児童・生徒が地域人材の指導を受けて盆踊りを習得する。
- ②運動会や地域の盆踊り大会等で披露する。

○高野区長

只今、事務局より、(2)「東京五輪音頭2020について」説明がありました。ご質問・ご意見等ございましたらお願いします。

○樋口委員

広報としま9月1日号に、カラー版の特別号が入っており、文化の面で各方面の様々な取組が行われることが分かりました。まさに「国際アート・カルチャー都市としま」であると感じました。

先程区長から2019年東アジア文化都市に選定されたという嬉しいお知らせも賜りました。こうした機会はこれから年を追うごとに増えると思います。そのとき、子供も大人も一緒になって一つのことに取り組むことができれば、子供や地域の方々も嬉しいと思います。この盆踊りは私も大賛成でございます。

子供にとって嬉しいのは、いつも教えてくれる先生ではなく、地域の方が教えてくれるということだと思います。是非地域の方に教わる機会を作ったらどうかと思いました。また「ふくろまつり」など池袋の大きなまつりでもプログラムに取り入れることができると思います。

○白倉委員

1964年の東京五輪のときの三波春夫の東京五輪音頭はテレビやラジオで放映され、私の心に今でもレガシーとして残っております。日本の経済や少子高齢社会もオリンピックの後に大きく変動することが予想されております。だからこそ、オリ・パラのレガシーとして子供から老若男女まで心をつなげた文化の共有は大変重要で有意義なことだと思います。これから2020年のオリ・パラの成功に向けて機運を高めていけるように、私も教育委員として頑張りたいと思います。

○北川委員

映像を見る前は「としまなまる」や「そめふくちゃん」も一緒に踊れたらと思っていましたが、実際に見るとなかなか厳しそうだと思います。でも、そういった楽しいイベントがあったらいいと思いました。せっかくですので、たとえば土曜公開授業などで親子で一緒に踊れる機会を設けたり、自分で藍染めをした手拭いを持って踊ったり、図工の時間にうちわを作ったりなど、自分たちで作ったものを持って踊ると楽しいと思いました。豊島区は文化の面の教育にも力を入れておりますので、東京五輪音頭を通して、音頭という日本の伝統を子供たちに伝えていけるようにしてほしいと思います。

○藤原教育長職務代理者

東京五輪音頭を踊った記憶がありますが、この新しいバージョンも覚えて子供たちと一緒に踊りたいと思います。地域のまつりとリンクさせていくというお話がありましたが、非常に良いことだと思います。親子で踊る、お年寄りも一緒に踊る、幼稚園や保育園のお子さんたちと一緒に踊る、といったことが子供たちの心のレガシーになっていくのではと思います。とりわけ交流会では外国人の方々と一緒に踊る機会もあると思いますので、そういった機会を増やしていければと思います。東京五輪音頭の豊島区バージョンがあっても面白いと思いました。ソメイヨシノや雑司が谷、鬼子母神のこと等様々なことを盛り込み、民謡連盟の方々が歌ったらもっと盛り上がるのではないかと考えています。そういったことでも区長部局の文化商工部や区民部の方々と連携してもらえたらと思います。よろしく願いいたします。

○高野区長

委員の皆様からご意見をいただきました。私が今年見た盆踊りの中で一番印象的だったのは、「千川ふるさと盆踊り」です。2千人を超す参加者が来場し、入場制限がかかるほどでした。そこで聞いたのが、子供たちは踊りを知らないのになかなか輪に入ってもらえないということでした。どうしたらよいか尋ねると、やはり学校教育が重要だということでした。授業の一環で取り上げることは難しいのですか。

○指導課長

授業ではリズムダンスや民謡・民舞という分野がございますので、取り入れることは可能です。

○高野区長

ぜひ今おっしゃったように、子供が踊れるように積極的に取り入れてほしいと思います。先生や教育委員も踊ることができたらよいでしょう。教育委員会、学校、先生方、地域の方々と協力し、子供たちを主役に据えて盛り上げていきましょう。

○学習・スポーツ課長

ご意見ありがとうございました。委員の皆様の貴重なご意見は今後ぜひ参考として取り入れてまいりたいと存じます。9月の区政連絡会で町会の皆様にCDを配布してまいります。また、民謡連盟、舞踊連盟の皆様とも連携してまいります。ふくろまつりの実行委員長とは既に話をしております。貴重なご意見をありがとうございました。

○高野区長

それでは三田教育長から、これまでの議論を踏まえまして、今後の決意も含めてまとめをお願いします。

○三田教育長

皆様ありがとうございました。大変刺激的な会議となりました。特に印象に残ったことを申し上げますと、樋口委員がおっしゃったふるさと豊島の底力をどう上げていくかということの中で挙げられた、「魅力ある教育」、「信頼される教師」、「磨きあう学校」という3つのキャッチフレーズについては、私も大事な点になると思います。藤原委員からは公立学校のプライドを示してほしいとお話をいただきましたが、いろいろな発信方法を工夫してまいりたいと思います。それから白倉委員からは、保護者と子供たちの多様なニーズに応えることの必要性を、また北川委員からは保護者は学校に期待を抱いているといったご指摘をいただきましたが、そういった期待や要望に応えていかなければならないと思っております。特に高野区長からは、連携校によって公立中学校への入学率が上昇するはずだのご意見をいただき、この点についても一層頑張ったいと思います。

もう一つ大事だと思ったことですが、高野区長が日頃からおっしゃっており、樋口委員からもご意見をいただきましたが、文化都市づくりには教育が大きな役割を果たすということです。これを語源から考えてみると、文化とは英語で「culture」ですが、元は「cultivate 耕す」だと言われています。それから「education」は「教育」ですが、元は「引き出すこと」だと言われております。どちらも共通しているのは、良さをどのように耕すか、引き出すかということで、同義語に近いと思います。言葉からもこのことを改めて感じました。

東京五輪音頭2020については、高野区長がおっしゃるように、先生と子供たち、地域の方々と子供たち、そして豊島区全体の心が繋がっていくことが大事だと思えました。豊島区のどこでも東京五輪音頭を踊ることができるようにすることが一つの課題であり、これを楽しんで取り組めるようにすることが大事だと思えます。小中連携校のステンドグラスのテーマも「繋げる」であります。自然と繋げる、人と繋げる、そして地域から世界へと繋げるというものです。今日の議題はこのテーマに集約されると思いますので、この二つの議題に応えてまいります。明日からさっそく入学説明会が始まりますので、このPRビデオを活用してまいります。また9月30日まで豊島ケーブルテレビでも放映されますので、私も合いの手を入れながら頑張ったいと思います。ありがとうございました。

○高野区長

まとめをいただき、ありがとうございました。最後に私から申し上げます。豊島区は3年前に消滅可能性都市として名指しされ、大変激震が走りました。23区唯一ということで、大変な注目を浴びました。一躍豊島区は有名となり私も心を痛めておりましたが、皆様のおかげで素早い対応ができ、豊島区は大変身をとげることができたと思えます。つい先日には、「噂の東京マガジン」というテレビ番組において、消滅可能性都市と名指しされた豊島区が見事に変身を遂げて待機児童ゼロなどを達成し、これから発展していくまちのお手本であるという内容が放映されたとのこと。これは、まさにピンチがチャンスになったということだと思います。

無謀な挑戦と思われた2019年東アジア文化都市の国内候補都市にも選定されましたが、そうした良い風も十分に活用していきたいと思えます。また旧庁舎や公会堂跡地の再開

発も順調に進んでおりまして、2019年には完成します。同時に、東京芸術劇場に隣接する池袋駅西口公園には、他に類を見ない野外劇場が完成します。さらにはトキワ荘の復元も2020年のオリンピック・パラリンピックに間に合うよう計画が進行しております。池袋を中心として全体が大きく変わっていくまちづくりが進んでいます。けれども、そうしたハードの整備だけがまちづくりではありません。国際アート・カルチャー都市という形の中で、文化と教育というソフト面の充実も進めていかなければなりません。待機児童ゼロをはじめとした少子高齢化対策もしっかり進めてまいりますので、そういった点で、ぜひ教育委員の皆様からご指導をいただきつつ、教育委員会と区長部局とで連携を図ってまいりたいと思います。

○企画課長

以上をもちまして、第2回豊島区総合教育会議を終了いたします。次回、第3回の総合教育会議は12月を予定しております。委員の皆様、本日はありがとうございました。